

RACE REPORT

Japanese Endurance Race
Super Taikyu

Auto Labo

ENEOS **BRIDGESTONE**

#290 AutoLabo Racing 素ヤリス

ENEOS スーパー耐久シリーズ2024 Empowered by BRIDGESTONE
第6戦 スーパー耐久レースin岡山

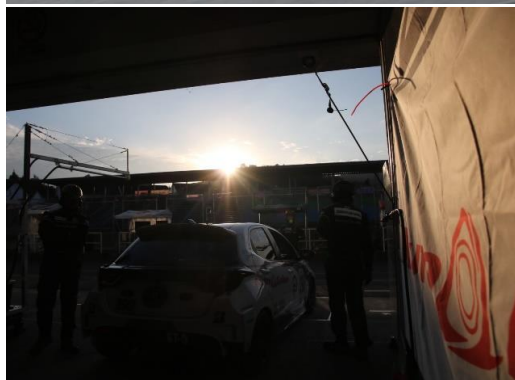
日時：2024年10月26～27日 サーキット：岡山国際サーキット
予選日：2024年10月26日 決勝日：2024年10月27日

ドライバー：Aドライバー横尾 優一
Cドライバー北川 剛

Bドライバー村田 悠磨
Dドライバー吹谷 禎一郎

< STEL専有走行 >

シリーズ終盤に向け、大幅にマシンセットを変更して挑んだ今回の岡山ラウンド。9:30、いよいよ金曜日の専有走行がスタートしていく。マシンセットの確認の為、まずは北川がコースイン。5周を走行し、マシンの感触は良くタイムもまずまず。続いて、村田、吹谷の順で走行を重ね、午前の専有走行を終えた。午後の専有走行は村田からスタートしていった。マシンセットも予選、決勝を見据えたセットを試しながら周回重ねていった。横尾、吹谷もマシンセットを確認しながらドライビングをアジャストしていった。しかし、思うような感触を得られぬまま専有走行が終了。走行後も、予選に向けてもう一度セットアップを見直していった。



< 予選 > 14位 / 14台中

迎えた予選日。午前中には30分間のフリー走行が行われ、まず吹谷がコースインしていった。そして、横尾、村田と僅かな時間の中ではあったが、マシンセットの確認を行った。午後1時40分にAドライバー予選が始まり、横尾がコースイン。横尾は3周を走行し、タイムは1'54.689とマシンの感触はよくなってきているようだった。続いて、Bドライバー予選。村田がコースインしていく。村田も3周を周回しタイムは1'53.985をマークする。合算タイムにより決勝は14番手からのスタートとなった。Cドライバー予選の北川は、更なるマシンセットを試し、Dドライバー予選の吹谷は、ガソリンを多く積み、決勝を見据えた状態での予選を行った。

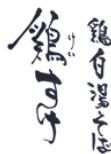
AutoLabo Racing PARTNERS

 **YOSHINO MOTORS**

 **株式会社 ミライズ**

 **KTC**


光自動車


龍白産業

 **Factory**


Ride

RACE REPORT

< 決勝 > 13位 / 14台中

決勝日は曇り空の中、8時30分にグループ2の3時間レースが始まった。スタートドライバーは横尾が担当した。オープニングラップ、懸命に前のマシンに食らい付き周回を重ねていった。着実にタイムを刻み、安定したラップタイムで走行を続けた横尾はスタートから30周を周回し、ドライバー交代のピットへと入ってくる。第2スティントを務めることになったのは、吹谷。コースインした吹谷は、自身の予選タイムよりも速いタイムで周回を重ねられる程、マシンのバランスとしては良い方向に向かっているようだった。レースも残り1時間弱となった60周目に、吹谷もドライバー交代のピットインを行う。



最後のスティントを託されたのは村田。コースインした村田は、1つでも順位を上げるべく、残り1時間を攻めていった。村田も予選タイムに匹敵するラップタイムでレースを進めていった。レース終盤1つ順位をあげ13番手を走行していく。レース終盤にも関わらず、ベストラップを更新しながら走行をしていったが、13番手でチェッカーを受ける事となった。3時間のレースをノートラブルで走り切り、決勝のラップに関して、ライバルチームと差が縮まっていることが証明できたレースとなった。いよいよ今シーズンも残すところ1レース。チーム一丸となって最終戦に臨んでいきます。

< 代表コメント >

決勝のラップは確実にライバルとの差は縮まっている。新たなセットアップの方向性も確認できましたし、残り1レースとなってしまいましたが、チーム一丸となって諦めずチャレンジし続けていきますので、応援宜しくお願い致します。



AutoLabo Racing PARTNERS

